

# 国語科学習指導案

- 1 日時・場所 平成26年7月 [ ]
- 2 対 象 第2学年 [ ]
- 3 単元名 資料から得た情報を活用し、作品に対して自分の考えをまとめよう  
「敦盛の最期『平家物語』」 (『中学生の国語2』三省堂 2011)

## 4 単元設定の理由

### (1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語第2学年「C読むこと」の「オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。」及び、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「ア (イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いを想像すること。」の能力の育成を主なねらいとして設定した。これらの能力を育成するにあたり本単元の価値は次のとおりである。

一つ目は、登場人物の心情を想像しやすいことである。「敦盛の最期」は、源氏の武将「熊谷次郎直実」が、平家の大将軍「敦盛」を泣く泣く討つ姿が描かれている。武士道を貫き、名を汚すまいと潔く死を選ぶ敦盛と、武勲をあげるために戦いを挑むが、人の親として若者の死を悲しみ武士の運命の過酷さに苦しむ直実の対照的な姿が、会話と心中会話をもとに描かれている。登場人物の思いを想像しやすい場面である。

二つ目は、学習に活用できる図書が多数出版されている点である。「平家物語」は、平家の栄華と滅亡が、七五調を交えた和漢混交文で綴られている。描かれているのは合戦の様子ばかりではなく、貴族から武士の世界へ移る時期の人々の状況や生き方、苦悩であり、読む者に人の生き方について深く考えさせる軍記物語の最高傑作である。教科書本文を読んだだけでは分かりにくい『平家物語』の内容や当時の武士の世界観・価値観などを、現代語訳・図典・絵本といった複数の資料から得、それらを活用して自分の考えをまとめる学習を展開することが可能である。以上のことから、ねらいを達成するのに適した単元であると考えられる。

### (2) 生徒観

生徒はこれまでも、複数の図書を活用して情報を得る学習や、作品に対して、自分の考えをまとめる学習を行ってきた。6月に行った学力調査とアンケート調査の結果から三つの課題が明らかになった。

「登場人物の心情の把握」の正答率は94.3%、「根拠を明確にして書く」の正答率は82.9%で、おおむね満足できる結果であった。しかし、「根拠に基づいた考えの記述」の正答率は77.1%であった。アンケート調査で、「手に入れた情報から、自分の考えをまとめることができます」という問いに肯定的な回答をした生徒は85.3%であったことから、生徒の意識と学力調査の結果に差があることが分かる。そこで、誤答分析を行うと、自分の考えは書いているが根拠が不十分なものが62.5%、問題の意味を正しく理解できず、問われたこと以外の内容を答えたものが37.5%であった。

これらのことから次の二つの課題を挙げることができる。一つ目は、与えられた条件を満たして自分の考えを書けない点である。その原因は、課題を設定し情報を得させて、自分の考えを書かせる指導はある程度できていたが、一定の条件のもとで書く指導が十分ではなかったことにあると考える。二つ目は、学習課題を理解しそれに応じた視点を持つことができていない点である。そのため、情報を選択する視点が定まらず、適切に情報を選択することができないのである。

また、アンケート調査で「図書室の本などを利用した調べ学習は楽しいです。」という問いに肯定的な回答をした生徒は97.1%、昨年度の授業で取り組んだ、『『故事成語辞典』作りに、意欲的に取り組みました。』と答えた生徒は88%で、図書資料を使った調べ学習に好感を持っている生徒が多いことがわかった。

しかし、「古典（古文・漢文）の学習は好きです。」という問いに肯定的な回答をした生徒は 62.9%で、低い値であった。否定的な回答をした生徒の理由は、「言葉の意味や歴史的かな遣いがわかりにくい。」など、言葉に関する難解さを挙げる生徒がほとんどであったが、「学習しても意味がない」、「昔の考えを知ることができるのはいいが、現代の小説や詩を学習する方が面白い」と答えた生徒がそれぞれ1名いた。また、97%の生徒が平家物語を知っていると回答したものの、「敦盛の最期」を知っていると答えた生徒は、わずか21%であった。これらのことから、三つ目の課題として、生徒が古典の学習に価値を感じず、古典の世界を楽しむことができていないため、積極的に学習に参加できないことが挙げられる。

### (3) 指導観

「中学校学習指導要領解説国語編」には、「『適切な情報』を得るには、集めた情報について、その真偽や適否を見極めながら自分の目的に応じて整理したり分類したりすること」が大切であり、「『自分の考えをまとめる』際には、得た情報をどのように引用するかを考えさせることが大切である」と述べられている。また、「『古典に現れたものの見方に触れ』るためには、古典の易しい現代語訳や古典について解説した文章を用いたり、関連する本や文章を紹介したり」とある。そこで、単元を貫く言語活動を、自分が調べたことや根拠に基づいて考えたり想像したりしたことを条件に従って書く、「平家物語入門づくり」とした。指導のポイントは次の二点である。

一つ目は複数の資料を用いた調べ学習である。生徒アンケートの結果から、図書室の本などを利用した調べ学習を好んでいることが分かった。そこで、「平家物語入門」の項目に『平家物語』の紹介文・あらすじ・人物関係図・源平合戦地図等を設定し、調べ学習を行う。項目を細かく設定することで、学習課題を理解しやすく、情報収集の視点も明確になると考える。複数の資料から情報を集め整理し、目的に応じた情報の引用方法を考えさせる活動を通して、生徒に作品に対して親しみを持たせ、意欲的に学習に参加させたい。

二つ目は「リテラチャーサークル」である。「リテラチャーサークル」は、「一つのテキストについて子供達が小さなグループで一緒になって語り合うための機会」である。テーマを、「『武士』としての生き方・『人』としての生き方・『敦盛の最期』の良さを考える」と設定することで、登場人物や作者の思いを豊かに想像し、文章を貫くものの見方や考え方に触れることができると考える。活動を通じて、古典を遠い昔の出来事と考える生徒に、古典を学習する魅力や価値を感じさせたい。リテラチャーサークルのテーマも「平家物語入門」の項目になっている。

なお、資料を読む際は、文章の中で必要だと思った部分に印を付したり、必要な部分を抜き書きしたりしながら読み進めたり、一冊の本を最後まで読む、大事な箇所を読む、多くの本に目を通すなどの様々な読み方を取り入れる。既習事項や創意工夫を生かして学習に取り組みせ、学習の楽しさを実感させたい。

## 5 単元の目標

- 古典に対する興味や関心をもつことができる。【国語への関心・意欲・態度】
- 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることができる。【C読むこと イ】
- 資料から適切な情報を得て、条件に即して自分の考えをまとめることができる。【C読むこと オ】
- 作品に現れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いを想像することができる。  
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア（イ）】

## 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
学校図書館等を活用して得た情報を比較し自分の考えをもつ言語活動を通じた指導。 (「平家物語入門」づくり)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音読を通して七五調のリズムの良さや和漢混交文の歯切れの良さを味わおうとしている。</li> <li>○ 「平家物語入門」の項目について調べてまとめ、積極的に他者と意見交流しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。(イ)</li> <li>○ 資料から課題に対する適切な情報を得て、条件に即して自分の考えをまとめている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品に現れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いを想像している。(ア(イ))</li> </ul>

## 7 単元の指導と評価の計画 (全8時間)

次	時	学習内容	評 価			評価方法	
			関	読	言		評価規準
一	1	○単元の概要を知る。 目標と学習計画の確認を行い、学習に対して見通しをもたせる。 ・「平家物語」の冒頭部分、「敦盛の最期」を歴史的仮名遣いや会話文に留意しながら音読する。 ・「平家物語入門」の概要を知る。役割分担を行い、調べ学習の計画を立てる。	○			・音読を通して七五調のリズムの良さや和漢混交文の歯切れの良さを味わおうとしている。(国語への関心・意欲・態度) ・資料から課題に対する適切な情報を得て、条件に即して自分の考えをまとめている。(読む能力)	・発言 ・ワークシート ・自己評価
二	2・3 (本時)	○「平家物語入門」づくり1 複数の資料から情報を集め、目的に応じて情報を引用する。 ・図書資料を活用し、必要な情報を選択する。 ・選択した情報を活用し、平家物語の紹介文を作る。(本時)	○			・「平家物語入門」の項目について調べ、まとめようとしている。(国語への関心・意欲・態度) ・資料から課題に対する適切な情報を得て、条件に即して自分の考えをまとめている。(読む能力)	・発言 ・ワークシート ・自己評価
	4・5	・図書資料を活用し、「これまでの話」, 「源平合戦地図」, 「敦盛の最期の人物関係図・あらすじ」をまとめる。					
二	6・7	○「平家物語入門」づくり2 ・リテラチャーサークルを行い、登場人物や作者の思いを想像する。 (キーになる発問) ・敦盛と直実のどちらに共感しますか？ ・作品の良さを考えましょう。 ・リテラチャーサークルを基に、『武士』としての生き方、『人』としての生き方, 「平家物語の魅力語る」という題で、自分の考えをまとめる。	○			・「平家物語」について、積極的に他者と意見交流している。(国語への関心・意欲・態度) ・登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立っている。(読む能力) ・作品に現れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いを想像している。(言語についての知識・理解・技能)	・発言 ・ワークシート ・自己評価
	8	○「平家物語入門」の交流を行う。学習を振り返り、学びの成果と課題を交流する。	○			・「平家物語」について、積極的に他者と意見交流している。(国語への関心・意欲・態度) ・作品に現れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いを想像している。(言語についての知識・理解・技能)	・発言 ・ワークシート ・自己評価

## 8 本時の学習(3時間目)

### (1)本時の目標

- 「平家物語入門」の項目について調べ、まとめようとするができる。【国語への関心・意欲・態度】
- 資料から課題に対する適切な情報を得て、条件に即して自分の考えをまとめることができる。

【C読むこと オ】

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準	評価方法																		
導入 (五分)	1 「平家物語」の冒頭分を斉読する。 2 本時のめあてを知る。 3 紹介文を書く条件を確認し、発表を聞く視点を持つ。	◇前時までにとらえている七五調のリズムの良さや和漢混交文の歯切れの良さを意識させる。 ◇条件は次の通りである。 ①字数 150字～195字 ②文体 敬体 ③選択する情報の数 3つ																				
展開 (四〇分)	<p style="text-align: center;"><b>必要な情報を選択して『平家物語』の紹介文を作ろう。</b></p> <p style="text-align: center;"><b>言語活動の充実</b></p> 3 役割分担を再確認し、発表準備をする。 4 班ごとに課題の答えを発表する。 ・答えを書いた模造紙を黒板に掲示し、発表を行う。 5 紹介文を書くために必要な情報を選択する。 ・情報を3つ選択し、ワークシートに理由、根拠の番号と一緒に記入する。 ・「紹介文」に必要な情報を選択するための視点を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【何を】</b> 平家物語についてこれまでに調べてきた情報を。</p> </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【どのように】</b> 比較して、課題や条件に照らし合わせて選択する。</p> </div> ・交流後に、ワークシートに、再度自分の考えを記入する。	◆自分の役割を確認させ、自信をもって発表できるように準備させる。 ◇発表内容に関しては、指導者から質問をしたり、補足を付け加えたりする。 ◇課題や条件に応じて選択する情報が変わること理解させ、情報を選択させる。 根拠と番号 ①入門書の役割 ・初心者への手引書＝何かを知るための案内書 ②辞書の意味 ・「とは」＝定義。～というのは。 ③古典学習に関するアンケートの調査の結果グラフ <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>意欲的に取り組めた学習内容</caption> <thead> <tr> <th>学習内容</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話の内容</td> <td>30.8</td> </tr> <tr> <td>歴史的仮名遣い</td> <td>18.6</td> </tr> <tr> <td>音読・朗読や増唱</td> <td>12.4</td> </tr> <tr> <td>古人の生活や考え方</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>文法</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td>古語の意味</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>現代語訳と原文の対比</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.2</td> </tr> </tbody> </table> </div> ◆アンケート結果を基に、選択する資料を考えさせる。	学習内容	割合 (%)	話の内容	30.8	歴史的仮名遣い	18.6	音読・朗読や増唱	12.4	古人の生活や考え方	10.7	文法	9.2	古語の意味	8.9	現代語訳と原文の対比	6.2	その他	3.2	・資料から課題に対する適切な情報を得て、条件に即して自分の考えをまとめている。(読む能力) ・「平家物語入門」の項目について調べ、まとめようとしている。(国語への関心・意欲・態度)	・発言の確認 ・ワークシート ・自己評価 ・発言の確認 ・ワークシート ・自己評価
学習内容	割合 (%)																					
話の内容	30.8																					
歴史的仮名遣い	18.6																					
音読・朗読や増唱	12.4																					
古人の生活や考え方	10.7																					
文法	9.2																					
古語の意味	8.9																					
現代語訳と原文の対比	6.2																					
その他	3.2																					
まとめ (五分)	7 授業を振り返り、ワークシートに自己評価を記入する。 8 次回の学習内容を確認する。	◇共感的な雰囲気の中で授業を終える。 ◇「平家物語入門」作りへの意識を高めさせる。																				